

平成30年度 事業報告

平成30年度の活動は事業計画に基づき順調に進められた。

委員会の活性化、同期会の開催支援等について積極的な取り組みを実施した。その他の活動では、新年懇親会の開催などの定例行事の他、会報の発行、HPの活用により進交会活動の広報を進め、更にY校会・市大会では同窓会の活性化に取り組んできた。

進交会は従来同様「還暦ないし定年退職者等、相対的若年層及び現役世代の“進交会＝同窓会”への関心をどうしたら高められるか」等の課題に直面している。それらの課題は簡単に解決出来ることではなく、衆知を集めた取り組みと知恵出しが期待されている。今一度進交会会員のメリットは何かを整理し、会員へのアピール方法を改善することによって、積極的な会費納入を促し、Y校同期会の開催応援及び市大同窓会の活性化とホームカミングデーへの参加協力も積極的に行う。更にそれぞれの事務局・幹事との連携を強めることで、其々の活動との相乗効果を目指す。更にインターネット（HP／SNS等）も活用して、一人でも多くの会員が進交会活動に参加するように呼びかける。

[I] 平成30年度重点目標の評価

1. 「平成29年7月21日に付けで生和コーポレーション（株）との契約に基づき「新・進交会館（仮）実施設計」の具体的な推進を図る。

なお、特別委員会は平成30年度も引き続き継続する」

- ・特別委員会は平成27年12月から開始されたが、特別委員会の目的は「進交会の今後の方針について」対応策をまとめて、理事会に提言することであった。

平成29年3月の特別委員会で「進交会館の建替え」について、建築業者として生和コーポレーション（株）を選定し、平成29年3月29日開催の平成28年度第4回理事会で特別委員会からの提言に基づき、生和コーポレーション（株）を選定・発注することが承認された。平成29年7月21日に工事請負契約書を締結し、「新・進交会館（仮）」建設計画がスタートした。平成30年3月30日開催の平成29年度第3回理事会で「新・進交会館（仮）基本計画」が承認された。平成30年4月からは特別委員会プロジェクトメンバーの協力で「新・進交会館（仮）実施設計」を推進。それと平行して進交会館の解体作業を進めた。進交会館は登記上RC構造だったが、解体途中で実際はSRC構造であった事が判明した。その為に解体費用が当初の見積もりより若干増額された。又2階3階の設備費用等も見直した為、当初の請負契約金額が17百万円増になり、「新・進交会館（仮）」建築工事費の総額は531百万円に変更された。一般財団法人首都圏不燃建築公社とは平成30年10月31日にこの金額で「建築物の譲渡に関する契約書」を締結した。工事着工前に11月9日現地で地鎮祭を挙行し、工事の安全を祈願した。建築工事はその後予定通り開始されたが、8本の基礎杭工事で3本の杭を打ち込む場所に地中埋設物が見付かり、破碎工を進めながらの杭打ち工事になった為、工期の遅れと追加工事費が発生して、現在、追加工事費の調整と工期の挽回に取り組んでいる。

今回の計画に合わせて、平成29年10月より建て替え募金のお願いを進交会全員に

してきた。当初の建て替え募金募集期限の平成30年9月末では20百万円の目標に対して60%強であったため、募集期限を2019年6月まで延長し、募金の更なる増額をお願いしている。平成31年3月31日現在では19,763,728円になり、目標額に近づいた。

2. 「持続可能な進交会組織と運営」について議論を深める

- ・高齢化に伴う会員・会費の減少への対応として、平成22年度より会費のコンビニ払いを導入し納入窓口を増やすことにより年々成果を上げてきたが、本年度は費用削減の為、進交会報（第84号）の送付先を進交会会費納入者に絞った為、会費収入は1,991,870円になり、前年度（5,236,000円）の4割弱になってしまった。今後の進交会費増収策としては、住所不明会員の掘り起こしを進めながら、本来の趣旨に戻って同窓会継続の必要性とその意義を訴求し、地道な取り組みを推進することが肝要と思われる。

なお、進交会館のテナント収入が無くなってしまった為、「新・進交会館（仮）」が完成する2020年まで進交会は2018年度、2019年度の積極的な活動は控え、極力支出を抑えて乗り切る予定である。

みなと倶楽部は平成29年12月25日までで営業を終了した。「新・進交会館（仮）」完成後の「新・みなと倶楽部（仮）」については運営方法を含めて事業の再検討が必要である。

又、「進交会館建て替え事業」の推進に続いて、「進交会のホールディング化」が課題として残っている。この課題については今の所、議論は深められていない。進交会としては「新・進交会館（仮）」完成後の大きな課題だと会員全員で意識する必要がある。

3. 進交会報とホームページの連携と活用

進交会報（第84号）から進交会の財政事情により会費未納者には送付しない方針とした為、極力進交会ホームページを充実させて、進交会報をお届けできない会員に進交会の情報をホームページから届けなければならなかったが、多くの課題を残している。進交会ホームページのリニューアルは一応実施出来たが、内容の充実については必ずしも意を尽くせたとは言えず、今後も不断の努力が必要である。

4. Y校・横浜市立大学との更なる関係強化（母校支援等）

同窓会として最重要なテーマの一つであるが、進交会の財政基盤の確立なくしては絵に描いた餅である。「新・進交会館（仮）」の収入と進交会費増収策の検討により、更に多くの母校支援が可能な環境を作って行きたい。

5. 同期会・ゼミ部活OB会の開催支援

平成22年よりY校卒業生の60歳還暦同期会の他、各年度の同期会、部活OB会の開催を支援している。平成30年度もY校昭和40年卒業、昭和46年卒業、昭和52年卒業、昭和56年卒業の同期会開催支援の他、部活OB会支援では『Y校軟式野球部

創部70周年祝賀会』開催の一役を担い、進交会のPRとイメージアップに大いに役立っている。

2年に一回開催されてきた市大同窓会は、平成30年度横浜市大創立90周年記念式典が開催された為、記念式典と同日開催し、来賓を含め116名の参加を得た。

なお、横浜市大としては同期会の開催は難しい為、部活あるいはゼミのOB会等々を中心にして、将来的には同期会の開催が可能な環境を作りたい。

[II] 会員の状況（平成30年3月31日現在）

1. 本年度新会員

Y校	273名
市大（大学院卒を含む）	1,133名
合計	1,406名

2. 会員総数

区分	会員（物故者を除く）	住所不明者	住所登録者数
Y校	24,416	8,747	15,669
Y専	876	537	339
市大	36,216	16,235	19,981
合計	61,508	25,519	35,989

【市大生内訳】

区分	会員（物故者を除く）	住所不明者	現在数
商学部	14,658	6,548	8,110
文理学部	9,351	4,530	4,821
国際文化学部	1,032	663	369
理学部	691	356	335
国際総合科学部	3,809	1,021	2,788
医学部(医大・医大)	2,715	1,144	1,571
看護(高等看護含む)	3,629	1,904	1,725
大学院 他	327	66	261
合計	36,216	16,235	19,981

[III] 進交会の定例事業

1. 社員総会

- (1) 開催日時 平成30年5月26日（土）午前11時00分より
- (2) 開催場所 横浜市消費生活総合センター 5階会議室2・3
- (3) 出席者 48名（委任状38名）
- (4) 議題
 - ① 第一号議案 平成29年度 事業報告(案)承認の件
 - ② 第二号議案 平成29年度 決算報告書(案)承認の件
 - ③ 第三号議案 平成30・31年度理事・監事選任決議の件

第一号議案、第二号議案が承認され、第三号議案平成30・31年度理事・監事選任決議がなされ、社員総会終了後に懇親会を開催。

2. 進交会報第84号の発行

第84号は平成30年10月10日に発行し、会費納入済み会員に配布。

今回の進交会報も第83号と同様24ページ立てで、進交会の存在がY校・Y専・市大の歴史を物語ることを視覚的に表現した表紙を踏襲した。

平成30年は横浜市立大学が創立90周年に当る為、表紙にも「祝 横浜市立大学創立90周年」を掲げた。

古屋理事長の挨拶、市大学長、Y校校長の挨拶から始め、3ページには「進交会館建て替え工事」の概要と進捗状況等を説明した。

4ページ、5ページには東急不動産ホールディングス株式会社代表取締役社長大隈郁仁氏（市大昭57年商卒）の「人生における選択」と増田日出雄氏（Y校昭33年卒）の「人生百年時代」の記事を掲載。その他は例年通り、各支部の活動報告や、会員の同期会便りのほか、市大、Y校生の様々な活動や活躍を掲載。写真を増やし、母校の現状や会員の活動をわかりやすく伝えるように心がけた。

3. 教養講座

平成30年4月から進交会館の解体を開始した為、平成30年度の教養講座は会場の確保が出来ず休講とした。

4. 新年懇親会の開催

平成31年1月26日（土）に崎陽軒本店4Fで開催。参加者は招待客を含め128名（前年比－8名）であった。今回のアトラクションの目玉はポピュラー歌謡ショーをナンシー様に披露していただいた。更に横浜レク・フラダンス市民の会の皆様には恒例のハワイアンフラも例年通りご披露していただいた。

なお、この席で叙勲・受章の表彰を行い、古屋理事長が受章者に記念品を授与した。受章者は次の通りである。

平成30年 瑞宝中綬章	柴田 悟一 様（昭40商卒）
平成30年 瑞宝小綬章	須田 繁 様（昭44文理卒）
平成30年 瑞宝単光章	新田 弘子 様（昭39Y卒）

[IV] 理事会、各委員会及びその他の会合

1. 理事会

第一回理事会 平成30年5月26日（土） 午前12時00分より

第一号議案 平成30・31年度理事長及び業務執行理事選任の件

第二回理事会 平成30年6月27日（水） 午後5時00分より

第一号議案 公益目的支出計画実施報告書（案）承認の件

第二号議案 「平成30・31年度各委員会委員」候補者承認の件

第三号議案 職員夏季賞与支給の件

- 第四号議案 「「新・進交会館（仮）」追加工事費用対応」の件
第五号議案 「「新・進交会館（仮）建て替え募金期間延長」の件
- 第三回理事会 平成30年11月27日(火) 午後5時00分より
第一号議案 平成30年度上半期決算（案）承認の件
第二号議案 平成31年進交会新年懇親会開催承認の件
第三号議案 職員冬季賞与支給の件
- 第四回理事会 平成31年3月22日(金) 午後5時00分より
第一号議案 平成30年度収支見込と
2019年度収支予算（案）承認の件
第二号議案 社員総会の日程及び議題の件
第三号議案 「業務執行理事会」定款細則に追加の件
第四号議案 「台湾支部設立」承認の件
- 第五回理事会 平成31年4月26日(金) 午後5時00分より
第一号議案 平成30年度事業報告（案）承認の件
第二号議案 平成30年度決算報告（案）承認の件
第三号議案 令和元年度事業計画（案）承認の件
第四号議案 令和元年度収支予算（案）承認の件
第五号議案 役員人事（案）承認の件
第六号議案 相談役・顧問委嘱承認の件

2. 各委員会

従来の3委員会（総務・財務委員会、事業委員会、会報・HP委員会）に加えて、平成30年度も特別委員会を継続し、「進交会館建て替え（案）」について具体的な対応策を討議した。

3委員会は特別委員会と連携して其々の担当部分の対策を検討した。

3. 部 会

(1) Y校会

平成30年度も昨年に引き続き『母校への積極的支援』『組織の拡大・活性化』をテーマに掲げ取り組んできた。

【母校への積極的支援】

1. Y校国際交流事業への応援事業として、平成29年から実施している海外を目指すY校生に対する『Y校会海外奨学金制度』を今年度は台湾2名・ニューヨーク1名の研修参加者3名に合計20万円の奨学金を授与した。
2. カナダとの姉妹校交流により来訪したカナダの高校生に対し土産を配布した。
3. 『漫画で知るY校のはじまり』の小冊子を平成30年10月に1年生に配布し、翌31年3月の入学手続き時に新1年生に配布した。

【組織の拡大・活性化】

1. 同期会・部活OB会の開催支援と情宣、また歌舞伎鑑賞教室や寄席鑑賞、そして社会見学会、Y校会の集い等の親睦会開催により昭和30年代卒、40年代卒で正会員が41名増加した。
2. 反面、継続入金がない正会員63名の内、これからの同窓会を支える世代の昭和40年代卒が23名、50年代以降卒が21名、計43名おり、魅力ある同窓会作りにより、次世代会員の増員と目標に掲げる「正会員1,000名体制確立」へ向けて役員一同取組んでいる。

【進交会館建替え募金への対応】

Y校同窓会のシンボルである進交会館の建替え募金の情宣と協力依頼を各年度の同期会及びY校会の集い開催時に行い、また、広報紙の「Y校会だより」を通じて行った。

結果、Y校卒会員から549件・1200万円の協力を頂き、進交会の募金目標額（2,000万円）の達成に大きな貢献をした。

平成31年度も昭和50年代卒の時代の到来を見据え、より魅力ある企画や積極的な活動により「組織の拡大と活性化」を推進すると共に、母校支援では『Y校会海外奨学金制度』を基盤に有意義な支援を実行すべく、Y校と調整の上積極的に取り組んで行く所存である。

(1) 市大会

市大会は、これまで2年に1回の市大同窓会パーティーを開催してきた。

平成30年度は横浜市立大学創立90周年にあたる為、横浜市立大学金沢キャンパスにおいて創立90周年記念式典が開催された為、市大同窓会は創立90周年記念式典と同日開催とし116名の参加を得た。

市大会は平成30年度から新たに規約を作成し、「横浜市立大学同窓会」として、創立100周年に向けて市大会活動を同窓会の開催だけでなく、母校支援、会員との交流、地域貢献等々に活動の幅を広げていけるように今後も試行錯誤を重ねたい。

Y専・横浜市立大学は多くの人材を社会に輩出してきたが、今後も引き続き社会で卒業生が活躍されるように、卒業生同士の活躍を“見える化”することも必要であろう。また市大の著名教授の研究業績展や回顧展などを大学と協力して開く等の活動は継続していきたい。

[V] みなと倶楽部・文化教室

(1) みなと倶楽部 ……進交会館建て替え事業の為、平成29年12月25日で一時休業にした。

(2) 文化教室 ……………進交会館建て替え事業の為、平成29年12月で一時休会とした。

[VI] 母校関係

1. Y校・市大行事への参加

- (1) Y校 ① 入学式 平成30年 4月 6日 出席者：古屋理事長、田宮Y校会会長
② 卒業式 平成31年 3月 1日 出席者：古屋理事長、田宮Y校会会長
- (2) 市大 ① 入学式 平成30年 4月 5日 出席者：古屋理事長、山本常務理事他
② 卒業式 平成31年 3月25日 出席者：古屋理事長、丸山常務理事他
③ 「第67回医学のために献体された方々への感謝の集い」
平成30年12月1日 出席者：古屋理事長、佐藤事務局長

2. 表彰・支援

(1) 表 彰

- ・ 市大 「進交会賞」 14名 (国際総合科学部12名、医学部2名)
- ・ Y校 「奨学金」 7名 (クラスの成績優秀者)
「美澤皆勤賞」33名 (3年間無遅刻・無欠席の生徒に授与)

(2) 広告掲載

- ・ 市大：入学式・卒業式、運動部連合会、浜大祭、混成合唱、管弦楽団
- ・ Y校：Y校文化祭、Y校吹奏楽部OBバンド

(3) 母校への支援

- ・ 市大：寄付金／78万円、
市大医学部「献体された方々への感謝の集い」への助成
- ・ Y校：寄付金／21万円

[VII] 支部活動関係

北海道支部例会	平成30年11月17日
宮城支部例会	平成30年11月17日
千葉県支部総会	平成30年11月10日
静岡県支部総会	平成30年 4月14日
北陸支部総会	平成30年11月17日
名古屋支部懇親会	平成30年10月13日
近畿進交会の「集い」	平成30年11月10日
上海支部例会	平成30年 5月14日
台湾支部(準備会)	平成30年12月 1日

以 上